

エンパワーするNGO



2024年度

事業計画書

神戸YWCA

2024年度 神戸YWCA事業・活動計画

第33回総会期 日本YWCA全国会員総会決議

■主題聖句 平和を実現する人々は幸いである
—マタイによる福音書5章9節—

■ビジョン
女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

■ミッション
若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

■バリュー

1. キリスト教基盤
すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣って行動します。
2. 平和・環境
アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。
3. 人権
人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。
4. セーフ スペース
会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

神戸YWCA ビジョン
一人ひとりが大切にされる社会

神戸YWCA ミッション
多種多様な「つながりづくり」によって、
個と集団をエンパワーする

神戸YWCA 2024年度活動目標
つながりの意味を深め、共に動こう

2024年度 神戸YWCA事業・活動計画

I 平和と人権事業（「平和と人権センター」所管）

「人権を擁護し、非暴力による平和な社会の実現を目指す事業」「青少年の人間性を涵養し、生涯学習を推進し、より良い社会の形成に資する人材を養成する事業」を中心となり実施していく。

<世界・社会委員会>

【活動方針・活動目標】

人権、非核、政治、経済、憲法、居住、ジェンダー、メディアリテラシー、地方自治、民主主義、働き方などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

【活動計画】

●日本市民社会の民主主義を見直す～日本の「民主」社会は外国人とどう生きているのか

目的：外国人と共に生きる、よりよい日本の姿を考える。3年目のプロジェクト。

年間目標：在日韓国人や在住外国人に関する法や制度を知り、問題を明らかにする。

内容：日本社会での身近な問題に関心を持った高校生とプログラムを企画していく。

実施頻度（回数）：勉強会隔月1回くらい、講演会も開催

●Wチャンネルプロジェクト

目的：出会って語って、共有、共感から新しい何かを生み出す。メンバーをエンパワメントする。

内容：対面で、それぞれの思いを語り合い、普段の活動に活かす。

実施頻度（回数）：2回程度／年

グループ

■声の奉仕

【活動方針・活動目標】

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回程度、講師による朗読の学習指導を受け、時宜に応じて音読や録音・校正・編集の勉強会や研修会を行う。所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団（以下、赤十字奉仕団）を通じ、各種図書を録音・校正・編集してデジタル化したCDなどをリスナーに発送する。

【活動計画】

①定例会

目的：声の奉仕グループの運営

内容：赤十字奉仕団の運営委員会や各担当の報告、声の奉仕活動に関する話し合い、担当する「声の図書」の内容決定など

対象者：メンバー

実施日時など：原則として毎月第4火曜日

実施頻度（回数）：12回／年

実施場所：神戸YWCA会館

②朗読勉強会

目的：朗読技術などの向上

内容：実際に朗読し、講師の指導を受ける

対象者：メンバー

実施日時など：毎月第4火曜日

実施頻度（回数）：6回～10回／年

実施場所：神戸YWCA会館

③声の図書の作成に関わる作業

目的：「花時計」「つちのこ」や「単行図書」の構成・制作など

内容：・担当者によるプログラム構成についての話し合い

・担当者による現地調査・インタビューや打ち合わせ

対象者：担当メンバー

実施日時など：適宜

実施頻度（回数）：10～20回／年

実施場所：神戸YWCA会館、日赤兵庫県支部ほか

④「声の図書」の録音、校正、編集

目的：録音、校正、編集

内容：担当する「PHP」の録音、「花時計」・「つちのこ」の録音、校正、編集

対象者：担当メンバー

実施日時など：数10回／年

実施頻度（回数）／期間など：適宜

実施場所：神戸YWCA会館、日赤兵庫県支部、各自宅

⑤録音・校正・編集の勉強、指導・助言

目的：メンバーの能力向上

内容：録音機器の操作や録音の技術・技量の指導

対象者：関係メンバー

実施頻度（回数）：数回／年

実施場所：神戸YWCA会館、日赤兵庫県支部

⑥赤十字奉仕団のプログラムへの参加

目的：メンバーの知識・技量の向上・改善

内容：校正の方法論や実地練習、音読の技量向上のための勉強会

対象者：参加希望メンバー

実施頻度（回数）：数回／年

実施場所：日赤兵庫県支部

⑦「声の図書」を届けているリスナーとの交流会参加

目的：プログラムの改良・改善に資する

内容：リスナーたちと一堂に会して対話する

対象者：リスナー・赤十字奉仕団のボランティアグループメンバー

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：日赤兵庫県支部

⑧赤十字奉仕団の担当役割遂行のための会議等出席

目的：「声の図書」の水準の向上と円滑な運営のための会議

内容：プログラム構成や活動・行事についての話し合い・各グループの活動報告

対象者：担当班のメンバー

実施頻度（回数）：40～50回／年

実施場所：日赤兵庫県支部

■ジェンダーグループ

【活動方針・活動目標】

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動につなげたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会づくりを目指す。

【活動計画】

①ミーティング

目的：ジェンダーに関する活動を進める。

内容：グループ運営について

対象者：メンバー

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：毎月1回

実施場所：ほぼオンライン

②フリーペーパー発行

目的：ジェンダー問題について共有する。

内容：メンバーのエッセイを掲載

対象者：メンバー、一般

実施頻度（回数）：年に2回

③集い「ここでは言ってもええんちゃう」
目的：ジェンダーに関する課題について学び考える。
内容：ジェンダーに関する課題に語り合う会
対象者：メンバー他
実施日時など：未定
実施頻度（回数）：1回～2回
実施場所：未定

④感想シェア会（仮）
目的：映画を通してジェンダーに関する学びを深める。
内容：映画を見た人々と感想をシェアする。
対象者：一般
実施日時など：未定
実施頻度（回数）：1回
実施場所：オンライン

■ピース・ブリッジ（Peace Bridge）

【活動方針・活動目標】

- ・他団体、グループと協力して、平和構築活動を進める。
- ・学習会などを行ない、学び、語り合う。

【活動計画】

- ①「学び 語り合い つながる会」
目的：学びを深めて、平和への思いを共有する。
内容：テーマを設定して講師に80分ほど語っていただき、その後参加者で語り合う。
対象者：一般
実施日時など：土曜日（14時～16時30分）
実施頻度（回数）：4回／年
実施場所：喫茶「エスポワール」
- ②講演会、音楽会など
内容：他団体、グループなどと協力して、平和に関する催しを行う。
対象者：一般
実施頻度（回数）：1回程度／年

■平和活動グループ

【活動方針・活動目標】

- ・憲法の価値を活かし、広める～社会生活の中で憲法を生かす。
- ・平和で人権が守られる社会実現のため学習し、行動する。
- ・若い人の活動を応援し、次世代につなぐ。
- ・他団体・グループの活動にも参加・協働して、活動の幅を広げる。

【活動計画】

- ①グループミーティング・学習会
目的：グループメンバーの学習と行動準備
内容：活動方針に従い、具体的課題について学習し、行動を計画・実践する。
対象者：グループメンバー
実施日時：未定
実施頻度：10回程度／年
実施場所：神戸YWCA会館他
- ②おしゃべり会・学習会
目的：グループメンバー以外の人たちと学習し、問題意識を共有する。
内容：時宜に適った課題について、意見交流・学習する。
対象者：一般
実施日時など：未定
実施頻度（回数）：2～3回／年

実施場所：神戸YWCA会館他

■夜回り準備会

【活動方針・活動目標】

人権と平和の理念に基づき、対等な関係を引き続き追究し、実現したい。

そもそも野宿したくない人が野宿をせざるをえなくなる根源を断つことも意識したい。物価高を上回る賃金の停滞、安保3文書等、悪化する社会の犠牲になる人がいなくなる社会を少しでも目指したい。

<方向性（暫定版）>

対等な関係を築き、常に、関係を問い直し、対象者が、解決したいことを抱えており、ご本人の意思決定が明確であり、夜回りが関わっていいならば、ご本人の意向を丁寧に聞き取り、自分たちのできる関わりの見定めをし、同意をとって協働すること。

【活動計画】

会のあり方について考える（2023年4月から夜回り活動を停止している）

●臨時ミーティング

目的：会のあり方について考える

内容：活動を停止することを決めた時の振り返りや、活動についての課題を話し合う。

対象者：夜回り参加メンバー、夜回りMLメンバー

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：年1回以上

実施場所：神戸YWCA会館、または、オンライン

<環境・くらし委員会>

【活動方針・活動目標】

SDGs（持続可能な開発目標）、原発、温室効果ガス、ゴミ問題、プラスチック、農業、哲学カフェ、生と死、ローカルコミュニティ、防災、DIY、おひとりさまなどをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

【活動計画】

●^{こうふく}神福のはしごプロジェクト

目的：セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA地域連携委員会の活動方針に沿って実施する。

時間の経過と環境変化によりリフレッシュプログラム（保養）に参加する家族は少なくなってきたはいるが、必要だと思ふ方々は確実におられる。子どもたちの成長を見守りつつ、ロングランの対応が重要と思われる。これまでのつながりを活かし、互いに励ましあう関係を深めたい。そして、神戸と福島の新たな関係づくりにつなげていく。

計画：①セカンドハウス・プログラム

目的：放射能被災下に生活する家族の一時保養

内容：・日本YWCAとの協働事業

・神戸YWCA関係者から家屋を一定期間貸し出してもらい保養に用いる。（利用者には交通費の一部を支援。水道光熱費や家賃は無料）

・利用家族との交流を通して、福島の現状を学ぶ。

対象者：福島県をはじめ近隣県の放射能被災下に生活する家族および単身女性

実施頻度（回数）：申し込みがあり次第随時

実施場所：神戸市東灘区、兵庫県近辺

②はしごプロジェクト

目的：共に生きる仲間として、福島の声から学び続ける。

内容：オンラインによる活動家のお話会、映画会（福島YWCAやカーロフくしまなどとの連携やコラボ）

対象者：会員、会友、一般

実施頻度（回数）：随時

実施場所：兵庫県内もしくはオンライン

●カウンターカルチャー・プロジェクト

目的：YWCAが常にテーマとしてきたカウンターカルチャー（メインカルチャーにとって代わりうるポテンシャルをもつカルチャー（あるいはオルタナティブ・カルチャー））を改めて考え学び、生きる。

内容：・2024年11月に開催される日本YWCA全国総会へ参加し、全国の取り組みを学ぶ。
・YWCAの関連団体の活動訪問（WAMなど予定）

対象者：会員および一般

実施日時等：2024年11月23日～24日の前後

実施場所：東京

グループ

■讃美歌を歌おうかい

【活動方針・活動目標】

讃美歌に親しみ楽しく歌うことを目標にする。

【活動計画】

目的：讃美歌を歌う。

内容：讃美歌Ⅱ編および讃美歌21より歌う。

対象者：会員、会友、一般

実施日時：第1木曜日15時～16時

実施頻度（回数）：3回以上／年（8月を除く）

実施場所：神戸YWCA会館

■聖書を読む会

【活動方針・活動目標】

聖書を読み、イエス・キリストの生き方に学び、日々の生活に少しでも活かせるように努める。

【活動計画】

目的：聖書をより深く読む。

内容：イエスの愛と平和を学ぶ。

対象者：会員、会友、一般

実施日時：第1木曜日13時30分～15時

実施頻度（回数）：3回以上／年（8月を除く）

実施場所：神戸YWCA会館

■文学講座

【活動方針・活動目標】

清少納言の「枕草子」を読み継ぐ。

【活動計画】

目的：文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。

内容：清少納言の「枕草子」をメンバーで読む。

対象者：会員、会友、一般

実施日時：第3火曜日13時30分～15時30分

実施頻度（回数）：11回／年（8月は除く）

実施場所：神戸YWCA会館

<ユース・エンパワメント委員会>

【活動方針・活動目標】

多世代協働、多世代エンパワメント、音楽、芸術、体験的教育、演劇などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

【活動計画】

●こども〇〇プロジェクト

目的：・こどもが〇〇することを、おとなが応援するプロジェクト。〇〇には様々な言葉が入るので〇〇を名称にしている。

- ・家庭、学校、塾や習い事でない場で知らないおとなと出会い、活動を知る。
- ・こどもが体験や経験することで育っていく「土壌」＝プラットフォームとなる
- ・トライやるウィークの神戸YWCA版

内容：こども(小・中・高校生)がユースや大人と一緒にボランティアや体験、学びに行くことを支援する。受け入れ先グループ探し、企画、調整など仕組みづくりをする。

対象者：小学生・中学生・高校生

実施日時など：土日や長期休暇中

実施頻度(回数)：2回/年

実施場所：それぞれのグループ、団体の活動場所

備考：2024年度はプロジェクトメンバーのグループを試験的な形として体験、学びに行く企画・運営をする

グループ

■愛農人倶楽部

【活動方針・活動目標】

目的：農作業体験を通じて野菜の成長、土や自然に触れる、収穫、食べる、参加者や地域の方との交流を楽しむ。

【活動計画】

農作業体験(基本毎月第2日曜日定例会)

内容：4月 じゃがいもの種芋植付け、あるいはじゃがいも追肥/5月 苺収穫と追肥、夏野菜苗植付け、種蒔き/6月 じゃが芋収穫、さつま芋苗植付け/7月 夏野菜収穫と雑草刈り/8月 雑草刈り、夏野菜収穫と世話/9月 大根、蕪種蒔き、秋野菜植付け/10月 さつま芋収穫、大根、蕪間引きと追肥/11月 玉ねぎ苗植付け、エンドウ豆類種蒔き、大根、蕪間引きと追肥、農園収穫祭/12月 大根、蕪収穫/1月 大根収穫 玉ねぎ追肥と中耕/2月 玉ねぎ追肥と中耕/3月 じゃが芋の種芋植付け

対象者：おとな、子ども

実施時期：通年

実施頻度：12~15回/年

実施場所：神戸市道場 風キャビン農園

■マザースカレッジ企画会

【活動方針・活動目標】

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、おとなが本と出会うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会を実施する。
- ・参加メンバーがそれぞれの場でリーダーシップを発揮できるように支援する。

【活動計画】

①ストーリーテリング研究会 大月先生

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、おとなが本と出会うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、絵本、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4金曜日

実施頻度(回数)：7回/年

実施場所：神戸市青少年会館

②ストーリーテリング研究会 芦田先生

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、おとなが本と出会うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、絵本、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4月曜日
実施頻度（回数）：6回／年
実施場所：兵庫県民会館交流プラザ
備考：開催場所の検討の必要

③真生塾

目的：児童養護施設の子どもたちにおはなしや絵本を届ける。
内容：ストーリーテリング、読み聞かせ
対象者：4～5歳の幼児
実施日時など：第3日曜日／偶数月
実施場所：神戸真生塾

<実行委員会>

■会員委員会

【活動方針・活動目標】

神戸YWCA会員の親睦のために活動する。

【活動計画】

●誕生日カードプロジェクト

目的：神戸YWCAの全会員、会友に神戸YWCAからの親睦のメッセージを届ける。
内容：誕生日カード、グリーティングカードなどの発送
対象者：会員、会友
実施日時：随時

II 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）

「支援を要する人々を援助し、地域の福祉を向上させる事業」を中心となり実施していく。

■神戸YWCAまごの手

【事業計画】

1. 居宅介護支援事業

【活動方針・活動目標】

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援を実施する。

- ①利用者一人ひとりに寄り添い、切れ目のない支援を提供する。
- ②地域包括ケアを目指して、神戸YWCAの地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。
- ③神戸YWCA総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。
- ④質の高いサービスを提供できるよう、研修を充実させ、研鑽を積む。

【活動計画】

目的：高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、介護保険に関する相談、申請の代行、ケアプランの作成など、介護保険サービス利用の支援を行う。

内容：・介護保険法に規定する居宅介護支援
・介護保険法に規定する介護予防支援（委託）

2. 訪問介護事業

【活動方針・活動目標】

①助けを必要とする人々に寄り添う支援を目指す

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続できるよう、訪問介護員を派遣して身体介護、生活援助等のサービスを行う。また、子育て中の家族を支援す

るために、子育て支援員を派遣して家事援助や育児支援を行う。利用者一人ひとりに寄り添い、可能な限り切れ目のない支援を提供する。

②地域福祉を支え、協働する

神戸YWCA総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。地域包括ケアを目指して、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所などと連携を強化する。

③エンパワメントし合える職場にしていく

ニーズに応えられるよう、サービスの担い手となる人材を確保し、育成する。職員やヘルパーが介護福祉の担い手として地域社会で活躍していけるよう、キャリアアップを支援し、ストレスマネジメントにも留意し、誰もが働きやすい職場にしていくことを目指す。

【活動計画】

○支援を要する方々に対して、居宅等を訪問して、身体介護、生活援助、育児支援などのサービス提供を行う。サービス種類は下記のとおり。

- ・介護保険法に規定する訪問介護
 - ・介護保険法に規定する介護予防訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
 - ・介護保険法に規定する生活支援訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
 - ・障害者総合支援法に規定する居宅介護
 - ・障害者総合支援法に規定する同行援護
 - ・障害者総合支援法に規定する重度訪問介護
 - ・障害者総合支援法に規定する移動支援（神戸市地域生活支援事業）
 - ・産前産後ホームヘルプサービス（神戸市委託 神戸市養育支援訪問事業）
 - ・養育支援ホームヘルプサービス（神戸市委託 神戸市養育支援訪問事業）
 - ・子どもケアラー世帯への訪問派遣事業（神戸市委託）
 - ・まごの手はあと（自費サービス）
- 研修・人材養成
- ・職員・ヘルパー向け研修（月1回実施）

3. 居住支援事業

【活動方針・活動目標】

誰もが地域の中で自分らしい暮らしを安心して続けることができるよう、地域包括ケアを推進する中で、人々の暮らしの基盤となる住まいについて、支援を要する方に対して、その確保から安心して住み続けるための支援、退去時までの支援を行う。

【活動計画】

- ①円滑な入居の促進に関する援助
- ・相談窓口の設置
 - ・専門相談の実施
 - ・不動産店への同行、契約等の支援
- ②生活の安定及び向上に関する援助
- ・生活相談窓口の設置
 - ・見守り、生活支援サービス
 - ・交流拠点の活用
- ③居住支援協議会との連携
- ④その他の居住支援に資する取り組み
- ・地域の居住支援ネットワーク形成
 - ・居住支援事業の中長期的な持続性に配慮した取り組み
- 対象とする区域 神戸市中央区、灘区、兵庫区

4. わいわいダイルーム

【活動方針・活動目標】

- ・感染症予防につとめて、介護予防に資するプログラムを提供する。
- ・高齢者ができるだけ長く、生き生きとした豊かな住宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいくくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。

- ・神戸YWCAの他の事業、会員活動グループと交流することにより、多世代・多文化とのふれあいを提供する。
- ・地域の中で、利用者が安心して住宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉などの専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。

【活動計画】

①わいわいダイルーム

目的：神戸市総合事業 地域拠点型一般介護予防事業（神戸市委託）

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりプログラムの提供を行い、栄養バランスのとれた昼食を提供することにより、介護予防に資する活動を実施する。

内容：・リハビリ専門職、管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師、看護職の5つの専門職による介護予防講座（各1回）

- ・音楽療法士、健康運動指導士、その他専門職による介護予防プログラム（全18回）
- ・介護支援専門員、介護福祉士等による情報提供（随時）
- ・体調確認、近況確認（毎回）
- ・健康体操、脳トレ、ゲームなどのプログラム（毎回）
- ・ボランティア講師によるクラフト作成、書道などのプログラム
- ・昼食（お弁当、汁物）の提供

対象者：神戸市在住の65歳以上の高齢者

実施日時など：毎週火曜日 10時30分～14時30分

実施頻度（回数）：1回／週、全47回

実施場所：神戸YWCA会館

*「生活支援わいわい」は2023年度をもって事業を終了する。

■神戸YWCA保育園

【事業方針・活動目標】

- ・子どもたちの「今」を共に生きる。
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える。

【具体的活動】

- ・毎日の子どもの生活を大切にする（子どもが自分のしたいことを納得するまで行える時間を保障する）。
- ・家族がほっとする受け入れと送り出しを行う。
- ・親子で様々なことにチャレンジする。
- ・YWCAの活動やそれにかかわる人たちと繋がる。

【事業計画】

保育理念：キリスト教精神のもとに一人ひとりの身体と心に寄り添い、いのちを大切にする保育を目指す。

保育方針：・少人数で家庭的な環境で個性を大切にしつつ、生活習慣の基礎を身につける。

- ・温かいふれあいや遊びを通して、豊かな情操を養う。
- ・人と人のかかわりや絆（愛・信頼）の基礎を培う。

開所日時：月曜日～土曜日 標準時間7時30分～18時30分、短時間8時30分～16時30分、延長保育あり

利用者：生後6カ月～3歳未満児

定員：12人

保育内容：・年齢、月齢にとらわれず、個々の子どもの成長に合わせた保育を行う。

- ・多様な人たちと関わり、互いの違いを知る。
- ・散歩や近所の公園で、楽しみながらできる遊びでしなやかな体をつくる。
- ・強い刺激ではなく優しい語りや歌、繰り返し読む絵本を大切にする。
- ・季節感、自然を取り入れた遊びで心を動かす体験を重ねる。
- ・子どもと共に祈る（毎日の祈りと讃美歌）。

- ・季節やキリスト教の行事を大切にす。

職員体制：園長、保育士、看護師、管理栄養士、栄養士、調理師

その他：・避難訓練（1回／月）、救急訓練（1回／2カ月）

- ・連携園、近隣の小規模園との交流
- ・近隣の方々、地域との繋がり（花の日、地域行事参加）
- ・保育の質向上のため、自己評価制度を採り入れ、振り返りを行う。
- ・園内研修の実施

神戸YWCAつどい場

■カフェもぐもぐ

【活動方針・活動目標】

コミュニティーカフェの役割として以下のことを行う。

- ・当事者の声を聞きながら活動を進めていく。
- ・若年性認知症についての啓発活動を行う。
- ・仲間を増やす。
- ・地域に開かれたつどい場としての働きを模索する（他団体・他グループとの協働など）。

【活動計画】

①定例会

- 目的：・若年性認知症の人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場となる。
 ・若年性認知症の人が集い、生きがいを持って働く事ができる場をつくる。

- 内容：・（午前）カフェでの食事づくりと昼食（午後）交流、その他
 ・外出プログラム（年数回）
 ・交流と学びのためゲストを招待（年数回）

対象者：若年性認知症の人とその仲間

実施日時：毎月第1土曜日 10時30分～15時

状況により開催日程・開催時間の変更あり

実施頻度（回数）：12回／年（状況により実施回数・期間の変更あり）

費用：参加費／400円 食費／400円

実施場所：日本基督教団神戸聖愛教会／神戸YWCA会館／その他

備考：スタッフミーティング：第1土曜日終了後、その他必要に応じて随時

②啓発プログラム

目的：若年性認知症についての啓発活動

内容：未定

対象者：若年性認知症当事者、家族、他団体、興味のある人

実施日時：未定

実施頻度（回数）：1回以上／年

実施場所：日本基督教団聖愛教会／神戸YWCA会館／その他

③認知症サポーター養成研修（神戸市認定）

目的：認知症を学び地域で支えるためのサポーター養成

内容：神戸市認知症サポーター養成研修

講師：キャラバンメイト（神戸市認定）

対象者：興味のある人、ボランティア希望者

実施場所：神戸聖愛教会／神戸YWCA会館／なだのはまエイト／その他

実施日時：未定

実施頻度（回数）：1回（90分）／年

備考：費用は無料。講座修了者にはオレンジリングが手渡される。

④その他

*カフェもぐもぐだより発行（年1回）

*情報収集と発信のためのネットワークづくり（他団体交流・行政・研修会参加）

■木曜カフェ

【活動方針・活動目標】

- ・神戸YWCAの交流スペースとしての活用
- ・会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごすことのできるスペースをつくる。
- ・木曜カフェのつどい場を利用して、お話や映像、演奏をする機会をもつ。
- ・バザー・ガレージセールなど他の催しへの参加。

【活動計画】

①常設木曜カフェ

目的：神戸YWCAの交流スペースとしての活用

会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごすことのできるスペースをつくる。

内容：飲み物提供（紅茶・コーヒー・その他）

木曜カフェのつどい場を利用し、お話や映像、演奏する機会をもつ。

対象者：会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々

実施日時：隔週木曜日（第2・第4）13時30分～15時30分

実施頻度：2回／月

実施場所：神戸YWCA会館、その他

②バザー・ガレージセールなど他の催しへの参加

目的：広報・ファンド

内容：飲み物（コーヒー・紅茶・その他）、その他販売者

対象者：会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々

実施日時：随時

実施場所：神戸YWCA会館、なだのはまエイト、その他

③グッズ販売

目的：広報・ファンド

内容：カード・本・その他販売

対象者：会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々

実施日時：随時

実施場所：神戸YWCA会館、その他

■ちやいやあらんど

休会

III 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）

「国際理解を推進し、多文化共生社会の実現を目指す事業」を中心となって実施していく。

神戸YWCA学院

■日本語コース

【事業方針・事業目標】

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

【事業計画】

①しよきゅうにほんごクラス

目的：クラス形式で日本語を学びたい学習者を対象にした1日2時間、週2日のクラス。

日本で生活している、または生活する予定がある学習者を対象に、すぐに使える実用的な日本語のレッスンを行う。日本語の構造、聞く、話す、書く、読む、を総合的に学習することで、実用的で正しい日本語を身に付けることを目指す。

対象者は初級レベルの学習者とする。

内容：文法、会話、発音、文字などの総合学習
対象者：初級
実施日時：2024年4月～2025年3月
実施期間：5回／年、8週／回 2日／週 各日2時間
実施場所：神戸YWCA会館

②プライベートレッスン

目的：学習者のレベルと要望に沿った授業を提供する。

内容：・学習内容は学習者の希望に沿う。

- ・キリスト教の日本語/子どもの日本語/各種試験対策等、神戸YWCAの日本語コースの特徴を生かした分野での個別指導。
- ・オンラインレッスン応相談。

対象者：個別レッスン希望者

実施日時：2024年4月～2025年3月

実施期間：10回／1クール、各回成人90分、子ども45分×2

実施頻度（回数）：随時

実施場所：神戸YWCA会館

③兵庫県立神戸高等技術専門学院委託訓練事業

「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」

目的：正式な日本語教育を受ける機会がなかった外国人（日本国籍含む）生活者が将来自立した生活を営めるよう、日本語と基礎的なビジネススキルのレベルアップを図る。

内容：就職に必要な正確な基礎日本語、面接時の日本語、ビジネスマナー、基礎的なITスキル、職場見学、職業人講話など（予定）

対象者：初心者向け（予定）

実施日時：2024年9月下旬～12月下旬（予定）

実施期間：3カ月（予定）、5日／週、各日9時30分～16時10分（50分×6コマ）（予定）

実施場所：神戸YWCA会館

備考：受講者申込先などはハローワーク

④子ども日本語トータルサポート（はっぴー・すくーる 神戸Y）

a) 外国にルーツを持つ子どもたちへの日本語学習支援プログラム「勉強に役立つ日本語クラス」

目的：・日本語を母語としない外国人児童・生徒（日本国籍を含む）の生活日本語と教科日本語を指導する。保護者向けの学校で使う日本語指導。日本語学習支援者向けプログラムの開催
・内容：日本語指導、教科日本語指導、勉強会開催。

対象者：・日本語を母語としない13歳以上の外国人児童・生徒（日本国籍／成人も含む）
・上記児童等の保護者
・日本語学習支援者

実施日時：2024年4月～9月

実施期間：夏休みの2週間、5日／週、各日9時30分～16時00分のうち45分×2コマ（予定）

実施頻度（回数）：随時

実施場所：神戸YWCA会館、関係団体施設など

b) はっぴー・すくーる

目的：日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）児童・生徒を対象に、学校の勉強に必要な科目学習の提供と、居場所づくりを行う。

外国人児童生徒の進路や進学をサポートを行う。

内容：学校教科学習のサポート、進路、進学相談。「先輩に聞こう」プログラム、居場所づくり

実施頻度（回数）：原則1回／月（年間10回程度予定）

実施場所：神戸YWCA会館／オンライン／関係団体施設など

⑤講師派遣 神戸市新規ALT日本語研修（予定）

目的：学校教育の現場でコミュニケーションに必要な日本語の研修

内容：新規に来日したALT（Assistant Language Teacher）への日本語研修

対象者：新規ALT

実施日時：2024年8月（予定）1回(3クラス)、2日間、5時間／日

実施場所：神戸市施設

■日本語教師養成コース

【事業方針・事業目標】

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師や日本語ボランティアを養成する。

【事業計画】

①日本語教育実習受け入れ

目的：日本語教育を学ぶ大学生に教育実習の場を提供する。
内容：帝塚山学院大学、神戸女学院大学等の実習の受け入れ
実施日時：2024年8月上旬
実施期間：5日間
実施頻度（回数）：1回
実施場所：神戸YWCA会館

②日本語ボランティア養成講座

目的：日本語ボランティアの発掘と育成
内容：日本語教育の考え方を講義・演習で学ぶ。状況によってはオンライン開催。
対象者：日本語に興味がある方、日本語ボランティアをしてみたい方、現在ボランティアをしているが教え方が分からない方など。
実施日時：土曜日10時～12時30分 全5回
実施期間：①6月22日～7月20日 ②11月
実施頻度（回数）：2回
実施場所：神戸YWCA会館

③「やさしい日本語」講師派遣

目的：日本人と外国人の共生ツール「やさしい日本語」の普及
内容：「やさしい日本語」の出前ワークショップ
対象者：国際交流協会、市役所窓口、日本語ボランティア教室、外国にルーツをもつ子どもの通う学校や保育園・幼稚園、自治会など
実施日時・期間など：随時
実施場所：派遣先／オンライン

④アドバイザー派遣

目的：日本語ボランティアのスキルアップと育成
内容：他団体において活動する日本語ボランティアへのアドバイスや指導を行う。
対象者：国際交流協会、日本語ボランティア教室など
実施日時・頻度など：随時
実施場所：派遣先／オンライン

■外国語コース

【事業方針・事業目標】

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応じたクラス・プログラム運営に努める。

【事業計画】

①レギュラーコース

目的：相互理解のための外国語をネイティブ講師から学び、コミュニケーションスキルを伸ばせる少人数のクラスを提供する。
内容：英語（初級～中上級2クラス）を実施
対象者：一般
実施日時：水・土曜日、10時～11時30分、11時15分～12時45分（計2クラス）
実施期間：12回／学期、年3学期制
実施頻度（回数）：週1回
実施場所：神戸YWCA会館

②プライベートコース

目的：個人または少人数グループのニーズに応じてフレキシブルな外国語のレッスンを提供する。

内容：英語等のプライベートレッスンを実施
対象者：一般、学生
実施日時：学習者のニーズにあわせて日時・講師を決定
実施頻度（回数）：原則週1回（60/90分レッスン）、10回1クール
実施場所：神戸YWCA会館

③カスタムコース

目的：学習者の目的に特化した内容でカスタマイズした外国語クラスを提供する。

内容：シニア英会話

対象者：シニア英会話：一般、*原則として3人以上で開講

実施日時：火曜日 10時30分～12時

実施期間：年3学期制

実施頻度（回数）：12回/学期

実施場所：神戸YWCA会館

④オフキャンパス

目的：他団体・学校・グループなどから外国語レッスンの業務を請け負う。

内容：・兵庫県Dクラス（英会話1クラス）

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校（外国語II 英語、2年生・3年生各1クラス）

・関西労災看護専門学校（英語1年生1クラス）

対象者：一般、兵庫県職員、専門学校生

実施日時：兵庫県Dクラス：木曜日/公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校：金曜日/関西労災看護専門学校：月曜日

実施期間：・兵庫県Dクラス 2024年4月以降

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校 2024年4月～7月

・関西労災看護専門学校 2024年10月～2025年1月（後期）

実施頻度（回数）：・兵庫県Dクラス：年20回

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校 7回

・関西労災看護専門学校 27回

実施場所：兵庫県職員会館、公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校、独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校

■文化教養コース

【事業方針・事業目標】

芸術・文化に触れ、エンパワメントされる講座を企画する。

【事業計画】

①ピアノレッスン

目的：ピアノを通して音楽を楽しむ

内容：それぞれの目標に合わせたプライベートレッスン

対象者：一般（子ども～成人）

実施日時など：月曜午後～夜

実施頻度（回数）/期間など：月1～4回

実施場所：神戸YWCA会館

②発声・歌唱レッスン

目的：ボイストレーニング・歌を通して音楽を楽しむ

内容：それぞれの目標に合わせたプライベートレッスン

対象者：一般（子ども～成人）

実施日時など：月曜午後～夜

実施頻度（回数）/期間など：神戸YWCA会館5階

実施場所：神戸YWCA会館

■多文化共生ボランティア部

内容未定

V 活動共通事業

■運営委員会

【活動方針・活動目標】

- ・明確化されたミッションに沿った活動を行う。神戸YWCAとして大切にすべきことを確認し、行動に移す。
- ・しなやかで強く、安心して活動できる組織に基づき、活動を推進する。
- ・ユース・ミドル・シニアのすべての世代が協働した活動を推進する。

【活動計画】

①定例運営委員会

目的：活動方針・目標を達成するための議論と決定

内容：・会員活動関連の協議

- ・世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA、他団体からの要請および連帯など
- ・定期的な運営委員研修の実施

対象者：運営委員

実施頻度：12回／年

実施場所：神戸YWCA会館、状況に応じてオンライン含むハイブリッド開催も検討

②第105回定期会員集会

目的：神戸YWCAの会員が主体的に組織運営にかかわること、ならびに会員同士の交流

内容：・2024年度活動報告と2025年度活動計画の承認

- ・新規運営委員と指名委員の承認

対象者：会員(会友、その他希望者も参加可能。ただし議決権はない)

実施日時：2025年3月8日(土)

実施頻度：1回／年

実施場所：神戸YWCA会館

③会員組織の推進

目的：・神戸YWCAのミッションに沿った会員活動の推進の評価と改善

- ・会員組織への理解促進

内容：・委員会運営チームの運営

- ・キックオフミーティングの開催
- ・オープンミーティングの開催

対象者：会員、会友、およびグループメンバー

実施日時：キックオフミーティング(6月)、オープンミーティング(11月)

④他市YWCAとの連携

目的：他市YWCAとの情報交換や協働をはかり、会員活動をパワーアップする。

内容：他市YWCAとの情報共有や連携

対象者：会員

実施日時：随時

⑤世界YWCAデイ

目的：世界YWCAデイ(毎年4月24日)を通して、世界中のYWCAの働きを覚え、互いの活動を知り、応援する。

対象者：会員 会友、および一般

実施日時：未定

実施場所：未定

⑥つながるプロジェクト

目的：会員のエンパワメントおよび情報交換

内容：会員活動の情報を共有する「つながるメール」の配信。スピーディーに配信するためにも配信頻度、配信内容などを検討する。

対象者：「つながるメール」は会員・会友対象

実施頻度：随時／年

⑦ボランティア募集

目的：神戸YWCAの新しい仲間を募る。

内容：・世界にネットワークを持つ国際NGOである神戸YWCAの紹介。
・神戸YWCAの活動紹介、参加を希望する活動の紹介。
・神戸YWCAの会員制度の紹介。

対象者：初めて神戸YWCAで活動する人、活動したい人

実施頻度：随時

■キリスト教基盤委員会

【活動方針・活動目標】

目標：・神戸YWCAに参加する全ての人が、キリスト教基盤を理解し、共有する。
・「キリストの平和」を学び伝える。

【活動計画】

①キリスト教基盤講演会

目的：YWCAにおけるキリスト教基盤を知り、共有するための取り組み

対象：会員およびYWCAで活動する人々

内容・実施日時など：未定

②イースター関連プログラム

目的：会員等と共に「キリストの平和」について学ぶ

内容：パレスチナ問題とキリスト教

実施日時：4月20日（土）13:30～15:30

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YWCA会館、その他

③神戸YMCA／YWCA合同祈祷週

目的：世界中のYMCA／YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈祷週とし、1904年以来毎年共に祈りの時を守っている。この1週間、YMCA／YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認する。

内容：合同祈祷週礼拝。期間中それぞれがプログラムを計画（1回～数回）

対象者：神戸YMCA会員、神戸YWCA会員、会友、および一般

実施日時など：11月10日（日）～16日（土）＊礼拝は11月12日（火）

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YMCA、神戸YWCA、その他

④神戸YWCAクリスマス

目的：会員がクリスマスの意味を学ぶ。イエスの誕生の喜びを届け、共に祝う。

内容：未定

対象者：神戸YWCA会員、会友、および一般

実施日時など：未定

実施場所：未定

⑤世界祈祷日

目的：世界祈祷日国際委員会が中心となり、世界中で教会の女性たちによって実施される。テーマにそって共に祈り合い、キリストの愛を世界に広める。関係団体と連携する。

内容：礼拝（礼拝内容企画の担当団体の持ち回り）

対象者：神戸阪神地区キリスト教各教会教派・団体メンバーおよび一般

実施日時：2025年3月7日（金）予定

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：未定

■HAT神戸・灘の浜プロジェクト

【活動方針・活動目標】

HAT神戸・灘の浜南集会所を活動拠点として活用し、管理運営を行う。入居者の少子高齢化等の課題に対応し、地域コミュニティの活性化を図る。

【活動計画】

目的：高齢化の進む災害復興公営住宅の集会所を拠点に、地域課題を見つけ解決策を探り、地域コ

コミュニティの活性化を行うことを目的に、地域住民の人々をつなぎ、バザー、リサイクルショップやカフェ、イベント、相談会など多様なプログラムを開催する。

- 内容：・イベント、プログラムの実施（オープニングイベント、居住者との交流機会の創出、集会所拠点整備ワークショップなど）
- ・地域コミュニティとの関係づくり、および地域調査
 - ・バザー、リサイクルショップ、カフェの開催
 - ・集会所の維持管理運営、集会所の貸与
 - ・運営委員会、拡大会議などの開催
- 実施場所：神戸市 HAT 神戸・灘の浜住宅南集会所
対象者：地域住民、地域活性化に資する団体

VI 広報・ファンドレイジング

■機関紙編集委員会

【活動方針・目標】

・会員、会友、賛助員、寄付者、他市 YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸 YWCA の活動を伝える機関紙を発行する。

【活動計画】

●機関紙の発行

内容：『神戸 YWCA 機関紙』の製作と編集委員会の開催

発行回数：3 回／年（6、11、2 月）

発行部数・対象：700 部

メンバー：機関紙編集委員

実施回数：18 回（編集会議 3 回、編集作業 12 回、発送作業 3 回）

■ファンドレイジング実行委員会

【活動方針・活動目標】

- ・会員活動の持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。
- ・ファンド・広報について情報収集に努め、神戸 YWCA を知ってもらう機会を増やす。

【活動計画】

①定例ミーティング

目的：マネージングの視野を持ち、持続可能なファンドレイジングを目指す。

内容：バザーおよびそれ以外にファンドとなりうる活動の検討

対象者：委員会メンバー

実施頻度（回数）：月 1 回

実施場所：神戸 YWCA 会館（オンライン形式を含む）

②チャリティー・ドリップコーヒー

目的：神戸 YWCA の活動資金を得るため

内容：チャリティー・ドリップコーヒーの販売

対象者：一般

実施期間など：通年

実施場所：神戸 YWCA 会館および通信販売

③はるいさんの天然はちみつ

目的：神戸 YWCA の活動資金を得るため

内容：はるいさんの天然はちみつの販売

対象者：一般

実施期間など：通年

実施場所：神戸 YWCA 会館および通信販売

④物品販売

目的：神戸YWCAの活動資金を得るため

内容：アドベント・クリスマスカレンダー/カード、ケニア紅茶などの販売

対象者：一般

実施日時など：

実施頻度（回数）／期間など：通年

実施場所：神戸YWCA会館

VII 施設貸与

【方針・目標】

神戸YWCAの施設を公益に資する団体等に貸与することで、公益事業の推進を図る。

【活動計画】

内容：公益目的事業に資する団体および個人に神戸YWCAの施設を貸与する。

実施場所：神戸YWCA会館、HAT神戸・灘の浜住宅南集会所

VIII 理事会

【方針・目標】

- ・「人」「財」が適切に配置された安定的な神戸YWCAとするために、財政構造および組織構造改革に目途をつける。
- ・神戸YWCAの中長期ビジョンを明確にする。

【活動計画】

- ・財政チーム、人事チームの課題を明確にし、収支のバランスを図った予算に則って、人材の有効活用を図り、毎月の資金繰りを円滑にする。
- ・施設貸与（収益事業）を拡充する。
- ・HAT神戸・灘の浜プロジェクトを安定的に運営し、新たな活動と人財を創出する。
- ・中長期ビジョンを明確にするために、既存事業を抜本的に見直し、組織構造の改革に具体的に着手する。